

-文化を通じたまちづくりとは-伝えることの大切さ

(河村先生) それって結局ね、その風土にあった習慣でしょ。地元を愛する、地元のことを知ることがすごく大事だと思いますよ。京都やつたら京都のことを。田辺やつたら田辺のことを。京田辺って古い時代から開けた、最先端の地域だったわけですからね。

(山際) 奈良時代では最先端だったと思うんです。

(河村先生) お願いいたします。文化が入ってきて栄えていた地域ですもんね。なぜそ�だったかというと、いい地域だから。交通も土地も海外との関係でも。今、交通も変わり、人の流れも変わるけど、その中でどういうものがあるのか。

(山際) ただそいつたものを受け入れることのできる素养を皆が持たないと。(河村先生) そうなんですね。小学校、幼稚園からでもそういうものに触れる機会を作った方がいいですね。心が豊かになるっていうことが一番大事だと思います。大人が子供たちに、地域にこんながあるのよとかいふことを機会をつくり、子供たちと共有できたら。

(山際) とういうことは教育がやっぱり大事。

(河村先生) すぐそなは思ひます。やっぽり家庭、地域全体で、その地域の文化を。

(山際) 地域全体での取り組みが大切になってしまいます。

(河村先生) 知る機会をどんどん増やしていく。文化の振興のため、その地域のものについていろいろ考へる。こういうことが地域全体でできたらいいですね。そのためには異分野の交流がすごく大事だと思うんですよ。やる気のある人たちが集まって、話題を決めてみんなで喋り合う。例えば「文化の継承ってどうしたらいいんやろう」という話題から、「私のとこ、こんなんやってるけど、こんな悩みがあるんだ」とかいう話がいろいろ出てきたりする。

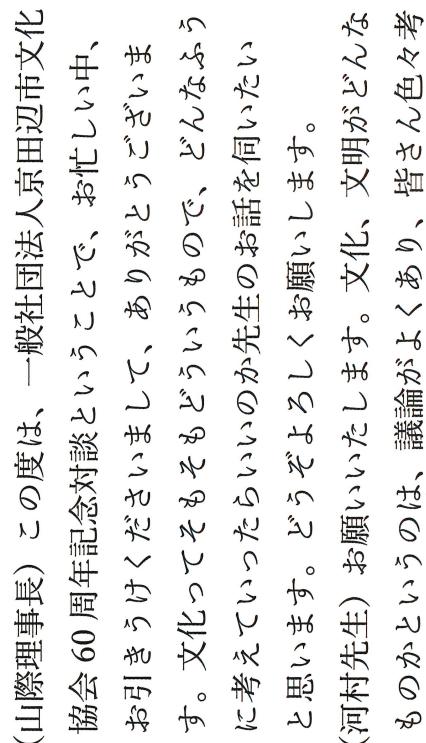
(山際) それは田辺でもできそです。皆様集まつてお話を聞いて、そういうところから生まれていくんですね。

(河村先生) そういうことしていると、何か新しい見え方ができてくるんですよ。

(山際) いろんなやる気のある人、熱量の高い人が集まりますね。

(河村先生) そうなんですね。いろんな分野に興味のある人が集まるのが面白いんですね。広く見渡してられる方のお話っていうのはすごく面白く感じるんですね。いろんなことが繋がってくると面白い。そういう異分野の人を集める出会いの場がなかなかないんですよ。

(山際) それほありますね。みんなどこで何をしてはるのかを知る機会があまりない。今後の課題にします。この後、文化は、人は、違って当たり前、だからこそ皆が共感し、許容する日本の考え方のよさ、反戦思想や SDGs など現代でも大切なテーマを扱ってきた「能」について、などたくさんのことをお話いただきました。



(山際理事長) この度は、一般社団法人京田辺市文化協会 60 周年記念対談ということで、お忙しい中、お引き受けくださいまして、ありがとうございます。文化ってそもそもどういうもので、どんなふうに考えていったらいいのか先生のお話を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

(河村先生) お願いいたします。文化、文明がどんなものかというのは、議論がよくあり、皆さん色々考へられるところですけども、簡単に言つてしまふと、文化っていうのは人間が人間らしく心豊かに生きるために大切なものです。古典芸能とかも、もちろん文化でなければ、生活そのものがもう生活文化なんですよ。文化っていうのは環境にものすごく影響されるものですから、周りの環境とともにあります。世界各国みんな文化が違つて当たり前なんですね。人間が人間らしく生きているもの、全てが文化の活動であるように思うんですね。

-日本文化とは-

(河村先生) 日本文化の特殊さは、残し続けるところにあるんですね。新しいものを創造していくことも大事なんだけども、日本は元あつたものはそのまま残し、そこに新しいものを作り出していく。ずっとやり続ける。そこに価値を見出す。例えば庶民芸能、猿楽ができて、能ができた。文楽ができる、歌舞伎ができる、全部價値を見出す。もちろん時代が変わると能も変わる。当たり前なんですね。なぜ変わったか。当時の人がいいと思ったから変わるんですね。いい、と思う方向にしか変わらないですよ。どう変わったのかずっとたどつてみると見えてくるものがある。表面的にはどんどん変わっても、その中で変わらない方向性があるんですよ。世阿弥が今の能を見たらびっくりする。でも世阿弥の目指した美的世界、人間の精神の世界の方向性を保ち続けて、今があるんですね。

(山際) 700 年、続いてきたことは、そこにあるといふことは、そこに関連している。伝統的に続いてきて、変わらないところもあるけれど、時代とともに変わってきたからこそ今がある。今まで続いてきたと。

(河村先生) そうなんですね。その時代の同時代性、感動がなければ、芸能って滅びるんですね。面白くなかったら、感動がなかつたら、なくなるんですね。

(山際) そこは結構大事なところですね。

(河村先生) 大流行してたのに、今は無いというのは、魅力を失つたからなんですね。

(山際) なくなつても仕方がない。

(河村先生) 仕方がないですね。でも、いいものがあるのに、知らないこととなるのは残念なんですよ。生活文化のあらゆるもののがそうです。どんどん忘れられるんですね。

(山際) どうしたらいんでしょうね。



それなの、その時代の人たちの生き方に関連している。伝統的に続いてきて、変わらないところもあるけれど、時代とともに変わってきたからこそ今がある。今まで続いてきたと。

(河村先生) そうなんですね。その時代の同時代性、感動がなければ、芸能って滅びるんですね。面白くなかったら、感動がなかつたら、なくなるんですね。

(河村先生) 大流行してたのに、今は無いというのは、魅力を失つたからなんですね。

(山際) なくなつても仕方がない。

(河村先生) 仕方がないですね。でも、いいものがあるのに、知らないこととなるのは残念なんですよ。生活文化のあらゆるもののがそうです。どんどん忘れられるんですね。

(山際) どうしたらいんでしょうね。

